

1. Maintenance and management of the school environment (Satoyama, Satoike)

It is integrated with the school's environmental improvement plan project and works as the center of students.

2. 26 years of insect phase investigation and specimen management

We are conducting an insect phase investigation at the school with everyone, and we have inherited from the previous school the collection list and the specimens.

3. Radiation measurement

"Nara Gakuen Junior High School Association of Students Who Love the Science" (Students)

In cooperation with, we conducted a radiation field survey from 2000 to 2010, and a Fukushima field survey from 2011.

4. Competition application and student activities

Applying for biological research, we participated in the National School Biology Competition and events such as the Environmental Fair, and we participated in environmental research at environmental research. We are also continuing our research.

Academic conference, the Japanese Society for Research

aims to be a research and

their

TRAINING OF  
CAPABLE HUMAN  
RESOURCES WHO  
CAN CARRY THE  
NEXT GENERATION  
OF SOCIETY, PLAY  
AN ACTIVE ROLE  
IN THE WORLD, AND  
CONTRIBUTE TO  
THE INTERNATIONAL  
COMMUNITY

## 部長挨拶

こんにちは。部長の石田です。

今年もこのような形で部誌を発行でき、嬉しく思います。

役不足ながら部長に就任し、先代の先輩方の活躍を超えることのできる部長を目指して本日まで活動してきました。次代の科学部も私たち 47 期を越える科学部になってくれると嬉しいです。

私たち科学部は、化学実験班、生物班、電子工作班の三つの班に分かれ、日々さまざまな活動をしています。文化祭は科学部の一年間の活動の集大成であり、この部誌も意欲のある部員が各々の興味関心を探究し、その成果を綴ったものとなります。

そんな部員たちの思いを想像しながら最後まで目を通していただけると幸いです。

*Scientiam colere est cupiditati cognoscendi satisfacere.*

科学を学ぶということは好奇心を満たすことである

# - トビハゼの生態・習性・近縁種 -

## 目次

- ・初めに
- ・干潟の冒険家「トビハゼ」
- ・最後に

中 3 B 24 辻本大空

## 1.初めに

こんにちは、中学3年生の辻本大空です。今回は、前回の「**タウナギ**」に続いて現在、僕が課題研究を行なっている「**トビハゼ**」という珍妙な魚を、紹介しようと思います。

## 2.干潟の冒険家「トビハゼ」

トビハゼ(図1)は、日本、朝鮮半島、中国、台湾などに生息する硬骨魚綱スズキ目ハゼ科トビハゼ属の魚です。この種の最大の特徴は、陸を歩くことです。トビハゼは、胸鰭と腹鰭を松葉杖のように使い、干潮時の干潟を這い回ります。

陸上では、皮膚呼吸やエラに水をため呼吸を行うため窒息することはありません。しかし、体が乾いてしまうと皮膚呼吸ができなくなってしまうため、時より体を水に濡らすような行動をします。6月中旬から8月にかけて繁殖期を迎えます。繁殖期を迎えると、オスは体の色が薄桃色に変わり、干潟の泥の中に巣穴(図2)を掘ります。

巣穴は、入り口がYの字になっており、奥はUの字のようになっており、トビハゼはこの巣穴の一番奥に卵産みます。時にオスは、口の中にたくさんの空気を含み、巣穴での奥で吐き出し卵に酸素が行き届くようにしています。



図1 トビハゼ

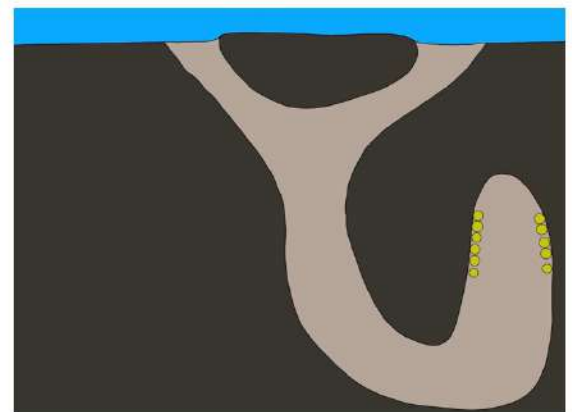


図2 トビハゼの巣穴

トビハゼは、主に干潟に生息する小型のカニやゴカイを食べて暮らしています。また、飼育課では、ひっくり返った状態で寝ることもあるようです。

日本には、トビハゼのように陸上で生活することができるハゼが何種類かいるのでそれらを紹介します。

## - トビハゼの仲間 -

・ トビハゼ 最大体長 8cm



・ ミナミトビハゼ 最大体長 10cm 種子島以南の温かい地域に生息しており、は本州に生息するトビハゼとは、明確に区別されています。

・ ムツゴロウ 最大体長 20cm 有明海のシンボルの存在で、日本では有明海と八代海の一部地域にしか生息していないハゼです。トビハゼとは違い草食で、主に泥の上の藻類を食べます。



続きは本誌で！

サイエンス館2階の物理教室で配布しています。

良いよこいよ

